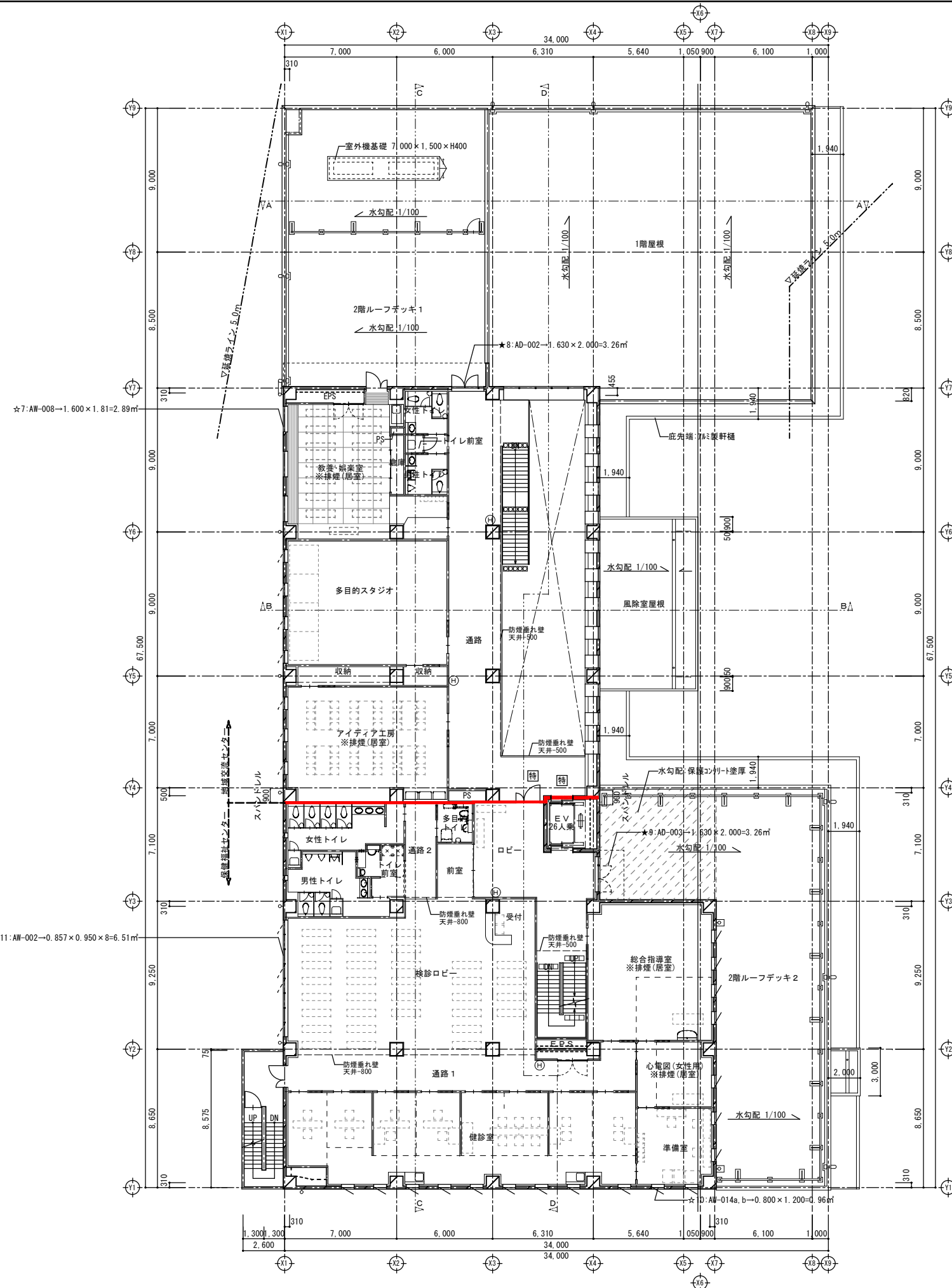


※消防法無窓階判定
★1: 10.13㎡ × 2ヶ所 = 20.26㎡
★2: 9.07㎡ × 1ヶ所 = 9.07㎡
★3: 6.07㎡ × 1ヶ所 = 6.07㎡
★4: 1.20㎡ × 9ヶ所 = 10.80㎡
★5: 2.58㎡ × 6ヶ所 = 15.48㎡
★6: 0.96㎡ × 4ヶ所 = 3.84㎡
65.52㎡

窓面積確認: 1,922.18㎡ / 30 = 64.07㎡ < 65.52㎡
無窓階判定: 消火活動上有効な開口部 ★1(W0.75xH1.20)が2以上ある。
→ 有窓階

| | |
|---------------------------------------|------|
| バリアフリー法 | |
| 利用円滑化経路 | W800 |
| 出入口寸法 利用円滑化経路による出入口 | |
| 廊下[バリアフリー法 令第11条] | |
| ・表面は粗面又はすべりにくい材料の仕上げ | |
| ・勾配が1/20を超える傾斜路なし | |
| ・階段の上端に近接する部分に点状ブロックの敷設をする。 | |
| 便所[バリアフリー法 令第14条] | |
| ・車いす使用者用便所を整備する。(多目的トイレ 2か所) | |
| ・オストメイトを整備する。(多目的トイレ 2か所) | |
| ・壁掛式小便器(受け口の高さが35cm以下)を設置する。 | |
| 標識[バリアフリー法 令第19条] | |
| ・エレベーター及び車いす使用者用便所の付近には省令で定める標識を設置する。 | |
| 案内板[バリアフリー法 令第20条] | |
| ・エレベーター及び車いす使用者用便所の配置を表示した案内板を設置する。 | |
| 案内所を設ける。 | |
| 案内施設までの経路[バリアフリー法 令第21条] | |
| ・案内所まで線状ブロック等・点状ブロックを敷設する。 | |

1階平面図 S=1/150
※面積区画壁・異種用途区画(耐火壁)
※天井・小屋裏まで達せしめる。
①: 消火器ABC 10型(歩行距離20m以内)
※排煙(居室): 建告1436号 四号 ニ-(4)により、壁・天井の下部及び仕上共に不燃材料の室を示す。
※排煙(室): 建告1436号 四号 ニ-(2)により、防煙壁(不燃材料の重れ壁)天井-500の室を示す。
収納は全て建告1436号 四号 ニ-(2)により、防煙壁(不燃材料の重れ壁)天井-500とする。
スパンドレル: 耐火構造の壁(開口部なし)
特: 特定防火設備(遮煙性能付)
☒: 床点検口 600×600



2 階平面図 S=1/150

※ 面積区分壁・異種用途区分壁（耐火壁）
※ 天井・小壁裏まで達せしめる。

※ ④：消火器ABC 10型（歩行距離20m以内）
※ 排煙（周室）：建号1436号 四号 - (4)より、防煙・天井の地下及び仕上共に不燃材料の室を示す。
※ 排煙（室）：建号1436号 四号 - (2)により、防煙壁（不燃材料の重れ壁）天井~500の室を示す。
収納は全て建号1436号 四号 - (2)により、防煙壁（不燃材料の重れ壁）天井~500と示す。
スパンドレル・耐火構法の壁（開口部なし）

【特】：特定防火設備（遮煙性能付）